

2024.12.14 土



↓
2025.1.26 日

なぜ恋 してしま うのか!

あなたの恋

外部プロデュース
による新企画
過去を学び
未来を考える

茨城県立
歴史博物館
展

おのゆき
の里

おのゆき
の里

し
ま
う
の
か

2024.12.14土 → 2025.1.26日 外部プロデュースによる新企画
過去を学び未来を考える

歴史の恋、未来の恋、あなたの恋

なぜ「恋」をしてしまうのでしょうか？古来、人々は恋の歌を詠い、出会い方を変え、時に恋愛のルールを作り…形を変えながらも、今まで「恋」は続いています。

「なぜ恋展」は、古代から現代に至るまでの恋愛を50エピソードと共に遡る過去の章、6通りの恋愛の未来を想像するエッセイを展示した未来の章で構成されています。過去の章では、時代ごとの恋愛模様やモテ、失恋、大恋愛エピソードから多種多様な恋愛観に触れ、未来の章では、あるかもしれない100年後の恋愛に想いを馳せる展示となっています。

私たちにとって当たり前の“恋愛の形”も、過去においては当たり前でなく、非常識と捉えられたものもあります。ひょっとしたら数百年後には恋をという感情は絶滅しているかもしれません。過去から未来へ、長い時間軸で恋愛を俯瞰することで、私たちの普通を問い直し、変わらない本質を見つめていきます。

恋愛という身近なテーマで、歴史を知り、今の私たちの価値観に「なぜ？」を問い合わせ、少し先の未来を考える企画展です。



①厨川白村著「近代の恋愛觀」、改版社、大正11年(1922)、国立国会図書館デジタルコレクション(<https://dl.ndl.go.jp/pid/977872>) ②模本:作者不詳／原本:狩野探幽筆「百人一首画帖(模本) 小野小町」、東京国立博物館蔵、Image: TNM Image Archives
③一鷗斎豊国筆「小倉擬百人一首 正三位家隆」(部分)、伊場仙、国立国会図書館デジタルコレクション(<https://dl.ndl.go.jp/pid/1312962>) ④佐光吉筆「源氏物語絵色紙帖 若紫 調西洞院時直」、桃山時代(17世紀)、京都国立博物館蔵、画像提供: 国立文化財機構所蔵品統合検索システム(https://colbase.nich.go.jp/collection_items/kyohaku/A%E7%94%8B216-5?locale=ja) ⑤楊洲周延筆「源平盛衰記 源義経 静御前」、明治18年(1885)、立命館大学アートリサーチセンター所蔵・画像提供([arcUP9918](#)) ⑥3代目歌川豊国筆「源氏物語図」(部分)、万延2年(1861)、東京市立中央図書館蔵・画像提供 ⑦吉井勇作詞 中山晋平作曲「ゴンドラの唄」、大正4年(1915) ⑧太宰治著「チャンス」、昭和21年(1946)
※本展示では画像を利用した紹介となります

2124年の恋愛エッセイ 100年後の恋愛はどうなっているだろう。6通りの恋愛の未来を想像するエッセイ。



茨城県立歴史館

○開催期間:2024年12月14日(土)~2025年1月26日(日) ○開館時間:9時半~17時(入館は16時半まで)
○休館日:月曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始12月29日~1月1日 ○入館料:一般390円、満70歳以上200円
※12月26日(木)満70歳以上の方入館無料料 20名以上の団体は一般330円、満70歳以上170円
※入館料:高校生以下、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害保健福祉手帳、指定難病特定医療受給者証をお持ちの方とお付き添いの方1名
○主催:茨城県教育委員会/茨城県立歴史館 ○外部プロデュース:株式会社ニュービース
○問い合わせ先:茨城県立歴史館 Tel029-225-4425
○交通のご案内 ○茨城交通バス(水戸駅北口4番のりば)「桜川西団地」行きなど
○千波湖方面行き乗車約10分、「歴史館偕楽園入口」下車、徒歩2分
○常磐自動車道水戸インターから約7km、車で15分

歴史
館



50周年
記念
Ibaraki Prefectural Archives & History Museum 50th Anniversary

SEKISHO 閔彰商事

常陽銀行